

活動報告

1月

30～
31日

鳥取芝生視察

テレビで取り上げられました鳥取の芝生を視察して来ました。現地ではニールさんから詳しい説明を受けました。市長も温暖化防止などの観点からも、大変興味を持っておられるので、4月8日に表敬訪問し、説明をしました。6月議会的一般質問で市内の芝生化について、市の考えを問う予定です。



2月

3日

行政視察

東京ドームで開催されていた「テンプルウェア・フェスティバル2009」を視察しました。例年より多くの人を訪れているようで、とても盛況でした。多治見ブースも盛況で多くの客に息つく暇もなく対応していました。



12日

市民児相サービス懇話会

27日

議員研修会

政策研究大学院大学教授の飯尾潤氏から「地方分権時代の地方議会の役割」と題した講演を聞きました。

活動予定

3月
今後の活動予定です…

6月

7日

第16回精華校区「少年の主張大会」

14日

水防訓練

28日

多治見市「少年の主張大会」

平成21年 第5回 多治見市議会定例会 6月1日(月)～26日(月) 26日間

1日(月) 本会議(招集・提案説明)

8日(月) 本会議(質疑・委員会付託)

10日(水) 総務常任委員会

11日(木) 経済教育常任委員会

12日(金) 建設常任委員会

15日(月) 厚生環境常任委員会

16日(火) 新火葬場建設特別委員会

議会基本条例策定特別委員会

17日(水) 駅周辺まちづくり特別委員会

市民病院特別委員会

22日(月) 本会議(市政一般質問)

23日(火) 本会議(市政一般質問)

24日(水) 本会議(市政一般質問予備日)

26日(金) 本会議(委員長報告・表決)

※会議は10時開会です。

議会基本条例策定特別委員会と市民病院特別委員会は13時30分開会です。

※すべての会議は傍聴可能です。

〒507-0025 多治見市宮前町1-125

TEL(0120)86-2284 FAX(0572)22-9098

Eメール nijinohashi@nifty.com

携帯電話 (090)3304-3723

携帯メール toshiyukiwakao@docomo.ne.jp



「若尾としゆき後援会」
事務所

虹の橋

2284

虹の橋はみなさんから戴いた得票数2284票から名付けました。

3月

8日

行政視察

東京ビッグサイトで開催されていた第15回「建築・建材展2009」を視察しました。

12日

陶都中学校「卒業証書授与式」

川地家 竣工披露パーティ

25日

精華小学校「卒業証書授与式」

4月

8日

精華小学校附属幼稚園「入園式」

多治見市長表敬訪問

9日

瑞浪市長表敬訪問

11日

第57回 たじみ陶器まつり

15日

視察

①JR多治見駅

②高田鉱山



25日

精華小学校 PTA総会

陶都中学校 PTA総会

29日

第16回 精華校区市民会議「総会」

N I J I N O H A S I

虹の橋

「若尾としゆき後援会」
——後援会通信——

第5号 平成21年6月1日

初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私の議員活動も5月1日で3年目に突入しました。無我夢中で過ぎた2年間であったように思います。初心を忘れることなく、これからも真摯に議員活動に取り組んでまいります。今まで以上にご支援賜りますようお願い申し上げます。いよいよ多治見特有の暑い夏がきます。お身体には十分注意して下さい。今年も昨年同様、研修旅行を計画しました。お誘い合わせの上是非ご参加下さい。



議会報告

平成21年第2回多治見市議会定例会

3月2日(月)～27日(金) 26日間

一般質問において次のテーマについて市の姿勢を聞きました。少し長いですが、議会を知って頂く上には大切だと思い全文を掲載させて頂きました。

1 消防の果たす役割について

- ① 少年期からの消防への取り組み
- ② 中央北分団の詰め所建て替えについて
- ③ 消防バイクの導入について

2 旭ヶ丘10丁目歩道橋について

- ① 塗装について
- ② 玄関口としての役割

3 重症心身障害児のショートステイ事業について

- ① 事業の現在状況と利用状況について
- ② 今後の事業展開について
- ③ 新市民病院と指定管理者による事業について

【質問】

今回は、大きく三つの点について質問させていただきます。
まず初めに、消防の果たす役割について質問します。
私にとって、いろいろな場面で隊員たちの活動を見せていただいたり、体験させていただいたことは、大変勉強にもなりました。感動もしました。昨年4月のAED講習会に始まり、6月の水防訓練、11月に行われました消防団市長特別点検、並びに都市型ロープレスキューとドクターカー連携による救助・救急救命訓練、年末の夜警、そして年が明けての消防出初め式等々、本当にすばらしい活躍を目の当たりにすることができ、大変感謝しております。また先日は、中央自動車道で発生した事故への素早い対応が認められ、中日本高速道路から感謝状が贈呈されました。さらにはBC(生物・化学)災害対応訓練を多治見警察署と合同で実施され、新たな脅威にも対応できるよう訓練されております。このような取り組みをしていただいておりますが、少し残念な話も聞いております。それは消防団の人員が定員を満たしていないということです。いただいた資料では定員539人に対し現在員477人、約88%です。人手不足は、万が一のときにとでも心配です。愛知県安城市では、団員確保のため地域の各組から代表入団させるということまで出てきました。市としても、さまざまな方法で人員確保に努めておられるとは思いますが、私自身、1月の出初め式を見て、二つのことが大事ではないかと考えました。一つは、プロとしての姿を見せるということ。もう一つは滝呂少年消防クラブのように小さいころから消防に関心を持ってもらうということです。署員のプロとしての姿を私自身も拝見させていただきましたし、出初め式でも披露されておりましたので、今後もこのような取り組みは続けていただきたいと思っています。消防団員不足を補うためにも、少年期からの取り組みは、防火・地域のつながりなど、どれをとっても大切なものと考えます。私の疑問は、なぜこれが滝呂だけなんだろう、ほかの小学校ではなぜやらないんだろうと思っています。安心・安全なまちづくりには、自らが参加することの大切さを教えることも必要ではないでしょうか。プロの技術を見て、自らが加わって地域を守る。そのプロに自分もなって地域を守るんだという気持ちを持つような子どもを育てていきたいものです。そこで最初の質問です。
少年期から消防への取り組みをどのように考えておられるのか。また、滝呂のような組織を全小学校に広めたらどうかなどについて、お考えをお聞かせ下さい。

次に中央北分団の詰所についてお伺いします。
私自身、小さいころから中央北分団にある火の見やぐらを見て育ってまいりました。年末夜警でお邪魔する機会をいただき、団員の皆さ

んと親しくお話しさせていただきました。年末夜警に対しては、寒い中、本当に御苦労さまですと心から感謝申し上げる次第です。このようにして地域を守っていただいていることを多くの市民に知っていただく必要を痛感し、微力ではありますが、私自身協力していく所存でございます。

そんな折、団員の方々とお話しているうち、詰所についての苦勞をお聞きすることができました。詰所と車庫の敷地が狭く、詰所が2階にあることで団活動に苦慮しているということでした。私には見なれた光景でしたが、団員の方々にはいろいろな苦勞があったんだなあと痛感いたしました。そこで二つ目の質問です。中央北分団の建てかえを含めた改善策をどのように考えておられるのか、お聞かせください。

三つ目の質問です。現在、全国各地にあります消防バイクについてお伺いします。

この件については、過去の議会での質問に消防長が40秒から3分早く到着できるので、患者や家族を安心させる面がある。しかし、特定行為を一人で行うのに困難が生じたり、出動時の事故等の心配など困難であると答弁されています。そこでお伺いしますが、その後もこの方針に変化はないのでしょうか。お聞かせいただきたいと思います。

【答弁】

○消防長

それでは、消防の果たす役割につきまして3点御質問いただきましたので、お答え申し上げます。

まず、少年期からの消防への取り組みでございますが、本市には、現在滝呂小学校に滝呂少年消防クラブがあり、消防職員による指導のもと、腕用ポンプによる消火訓練などが行われ、消防出初め式におきましては、その成果を御披露いただいているところでございます。また、同クラブは、毎年代表者4名ほどが県の消防学校におきましてプロの消防技術を学んでおられます。このほか、消防クラブ活動ではございませんが、中学生が職場体験の一環といたしまして消防署を訪れ、署員から消防訓練、救助訓練、救急講習等を受けておられます。こうした活動を通して限られた範囲でございますが、少年期からの防火・防災意識がはぐくまれているものと考えているところでございます。今後におきましては、こうした少年消防クラブの育成を始めたいとして、少年期から消防について学ぶ場づくりを地域や教育委員会と連携いたしまして、積極的に進めてまいりたいと考えているところでございます。

次に中央北分団の詰所の建てかえにつきましては、1階部分を昭和55年に車庫として供用開始いたしまして、その後、昭和63年に2階部分を詰所として増築し、現在に至っているところでございます。JR中央線沿いの中心部にあることもありまして、敷地面積が77平方メートル余りと狭く、2階に詰所がある分団は中央北分団のみでございます。議員御指摘のとおりでございます。今後、多治見市消防団本部とも協議いたしまして、中央北分団の施設整備につきまして検討をしてまいりたいというふうにご考えているところでございます。

次に、消防バイクの導入につきましては、現在のところ考えておりません。消防バイクによる緊急出動につきましては、隊員の交通事故、雨天、強風、凍結など悪天候時の安全性の面に加えまして、出動人員の確保等の面から困難であるというふうにご思っております。なお、消防バイクを導入いたしました他市消防本部におきまして、近年では同様な理由で運用を廃止しているという事例も多いことを聞いております。

【再質問】

まず消防の方ですが、少年期からの取り組みということで、学校へ教えに行っていただけでもあるということもお聞きしておりますが、やはり受け身的なものがあるというふうにご理解をしております。勉強でも何でもそうなんです、成績が上がるとするのは、やはり能動的か受動的かという話になったら、やはり能動的に行う方が必ず伸びるんじゃないかというふうにご思っております。そういう意味でも、子どもたちに能動的になるような、例えば今日消防署でこういうのを